

ふれあい情報

2025 年 7 月 24 日 (木) 第 400 号

■発行 日本退職者連合
■発行人 宇田川浩一
■連絡先 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QR コード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

— 第29 回定期総会開催 —

会 長に野田那智子さん(前事務局長)、
事務局長に宇田川浩一さん(前副事務局長)を選出！！

7 月 16 日(水)、日本退職者連合は「第 29 回定期総会」を開催しました。この一年間の活動を振り返るとともに、組織拡大・強化をはじめとする重要課題の取り組みなど 2025 年度の運動方針、政策・制度要求等を満場一致で確認しました。また、人見一夫会長が退任され、後任に野田那智子前事務局長を選出し日本退職者連合初めての女性会長が誕生しました。なお、出席代議員・役員は 178 名、内女性代議員・役員は、30 名で参画率は 17%でした。



連合会館 2F 大会議室

議長団に兼子代議員(基幹労連シニアクラブ)、佐藤代議員(全水道退職者協議会)の 2 名を選出し、佐藤議長から登壇挨拶後、資格審査委員会および議事運営



北村副会長
総会は、北村副会長の開会挨拶で始まりまし



人見会長
全国各地で日本退職者連合の活動を積極的に推進している、産別

人見会長あいさつ



兼子代議員(左) 委員会の各委員を選出して
佐藤代議員(右) 議事に入りま

退連、地方退連の皆さんに心より敬意を表するとともに御礼申し上げます。

第27回参議院選挙

昨年 10 月に実施された衆議院解散総選挙で、与党を過半数割れに追い込むことで、野党の協力なしでは国会運営ができなくなりました。さらに、今回の参議院選挙は与党を過半数割れに追い込み、政権交代につなげる重要な選挙となります。

そのために日本退職者連合が推薦する「連合推薦候補者」全員を当選させるために皆さんの一層の協力をお願いしたい。

世界の軍事対立

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのハマスの戦争、イランへの空爆など国際法に違反した戦闘行為が続いている。そして非戦闘員と言われる多くの女性や子どもが犠牲になっていきます。一日も早い停戦・平和が求められている。

今年には戦後・被爆 80 年の節目の年であり、様々な行動で二度と戦争を繰り返さない平和な日本を求めていく。要求実現に向けて

組織拡大・強化、ジェンダー平等、政策・制度要求の実現に向けて全力で取り組んでいく。そのために政府や政党への要請行動をはじめとする様々な運動を展開していくので、産別・地方退連の皆さんの協力をお願いしたい。

新たな運動展開へ

本総会で新たに野田那智子さんを会長とする体制が構築される予定であります。

退職者連合 34 年目にして初めての女性会長となり、諸課題の前進に向けて大きな期待をしています。皆さんの絶大なご支援をお願いいたします。

連合 清水事務局長 あいさつ



清水事務局長

2025 春

季生活闘争
の最終集計
結果を公表

しました。賃上げ率は 5% となり、2 年連続で 5% を超えました。しかし、大手と中小との格差を解消するにはいまだ、格差は正という分厚い壁を改めて実感している。また、賃上げが進んでも、実質賃金はマイナスで推移している。で、物価高に負けない賃上げを追求していきたい。今回の参議院選挙は、政権の在り方に大きく影響し、野党の連携次第では政権交代も視野に入る非常に重要な決戦となっている。連合推薦の全国比例・選挙区の候補者当選に引き続きの支援をお願いしたい。

連合結成以来、核兵器廃絶と恒久平和を求めて運動しているが、戦後・被爆 80 年の思いを次の世代へ伝えていくために日本としての役割を発揮するように求めている。

政党からの あいさつ主旨

立憲民主党

辻元清美 代表代行



昨年、衆議院選挙で、一票の力で政治が変わる、動かすことができるということを実感した。今回の参議院選挙では選挙区における勝敗によって大きく情勢が変わるので、ご尽力を賜りたい。

立憲民主党は物価高対策や農業対策などを打ち出しているが、自民党は現金給付の政策と未解決の政治とカネの「問題議員」を公認している。ぜひとも、働く者が基軸の国民の立場に立った政治を実現させたい。

国民民主党

川合孝典 幹事長代行



日本での生活が、この 30 年間でなぜ苦しくなってきたのか。その要因として政治の方向性や税制の在り方に原因があると思っている。課税最低限

度額が課税の原則であるにもかかわらず、生活保護費よりも低い金額で課税をされている税制自体に問題がある。

さらに物価上昇に賃上げが追いついていない。毎月の給料や年金などの手取りを増やすことで物価上昇に負けない生活基盤の構築が重要。そのために、参議院選挙で与党過半数割れを目指していく。

社民党

福島みずほ 党首



退職者連合の皆さんが、戦後の平和運動、地域運動、労働運動、反原発運動、さまざまな市民運動を展開していることに心から感謝と敬意を申し上げます。

社民党は、平和、自由、平等、共生という 4 つのテーマで頑張っている。厳しい生活環境を改善するために消費税ゼロ、最低賃金全国一律 1500 円、保険料の軽減などを打ち出している。防衛費に対して、教育費は半分、農業予算は 4 分の 1 など、軍事予算で社会保障予算が圧迫されている。

戦後・被爆 80 年の節目として恒久平和と絶対に戦争をさせない運動を進めていく。

満場一致で承認される

来賓あいさつ後、各種報告・提案がされ、質疑・応答を行い、24 年度の一般活動報告、決算報告、会計監査報告、25 年度の運動方針、予算、政策制度要求、ジェンダー平等参画推進計画について満場一致で承認されました。

代議員からの発言主旨

大畠代議員 (自治退)



核兵器を配備している国が多くあるが、今後の平和に危機感が持っている。トランプ大統領が戦争を終わらせるために広島・長崎の原爆投下を例に出したが、日本人は怒っている。核兵器廃絶の取り組みを進めてもらいたい。

角三代議員 (日退教)



昨年発生した能登半島地震で被災した家屋や道路などの復旧は、まだまだ進んでいない。業者や材料が不足していて工事の順番が回ってこない状況であり、当時のままの状態が多くある。また、原発に対する不安も大きい。今後も脱原発を進めてもらいたい。

二牟礼代議員 (鹿児島退連)



参議院選挙は推薦候補者を何としても当選させるために全力で頑張っている。昨日の学習会を聴いて、戦争は絶対に防がなければならぬことを改めて思った。今年からは多くの犠牲者を出した戦争の年となるので、日本退職者連合として談話などを発信してもらいたい。

西村代議員 (鳥取退連)

被爆 80 年の取り組みを中国ブロックとして広島県で、



200 名規模の集会を開催した。

平和への取り組みが形骸化しないように若い人にし

つかりとつないでいく必要がある。退職者連合として、連合の取り組んでいる埼玉県「狭山事件」の第 4 次再審請求の取り組みをしてもらいたい。

添田代議員 (全国退女教)



通常国会で

「選択的夫婦別姓法案」が成立できなかったのは残念だが、引き続き制度導入に向けた運動を進めてもらいたい。

米軍基地をはじめとする沖縄県への負担を軽減するため連携を進めてもらいたい。

中村代議員 (宮崎退連)



医療費自己負担の在り方について再検討となっているが、応能負担を基本として高齢者の負担増とならないように進めて

もらいたい。

第 29 回定期総会で退任された役員・幹事のみなさん

* 人見一夫 会長 (自治退)



会長 8 年
副会長 1 年

* 北村典子 副会長 (全国退女教)



副会長 7 年

○ 退任した幹事のみなさん

* 長谷川寿幹事 (JP 労退)

* 平岡良久幹事 (日退教)

* 泉田和洋幹事

(電機連合会歴代役員懇談会)

* 高橋勉幹事

(東海ブロック 静岡退連)

* 小澤利野幹事 (全国退女教)

(副会長に就任)

退職者連合運動の発展と拡大に尽力をいただきありがとうございました。

皆様の益々の活躍と健康を祈念申し上げます。

2025 全国組織代表者会議を開催

7 月 15 日 (火) 13 時 30 日より、連合会館 2 階大会議室で産別・関連組織、地方組織の代表者会議を開催しました。

代表者会議では、第 29 回定期総会の議案内容および当面の取り組みについて、意見交換と意思疎通を図りました。

会議の後半は、「戦後 80 年 今、伝えねば」をテーマに、東京都八王子市在住の石井忠明さんに「八王子大空襲」の体験を話していただきました。

本会議には、三役・常任幹事及び地方ブロック代表幹事も出席して開催しました。

人見会長の挨拶後、各担当より、報告・提案を行いました。

* 2024 年度一般活動報告

(野田事務局長)

* 第 1 号議案 (運動方針)

(野田事務局長)

* 第 3 号議案 (政策・制度要求)

* 第 4 号議案 (退職者連合第 2 次ジェンダー平等推進計画)

(畠山ジェンダー平等事務局長)

以上の説明がされ、各議案について意見交換を行い、翌日の第 29 回定期総会に向けた意思疎通を図りました。

また、当面する取り組みや全国高齢者集会の概要について確認をして終了しました。

出された主な意見

○ 交通事故で亡くなった人から、危険性のある高濃度の PFAS が検出されたという報告がされている。また、日本国内の水道水に発がん性の化合物が含まれていることの調査も進んでいると聞いている。今後、退連としても取り組みをしていただくよう要望したい。

○ これから、健康保険証から資格確認書に切り替わっていくことになるが、健康保険証と同様に使用できると

認識している。しかし、今後資格確認書の有効期限や再発行など詳細について、もう少し明確にしてマイナ保険証に関する取り組みを進めてもらいたい。

○ 食の安全について、生産者が持続可能な生産活動ができるようぜひ進めてもらいたい。消費者のための調整も重要だが、生産者のための食農政策を充実させないと農業従事者の生活が非常に厳しくなる。

いま、各地で水道管などの破裂などが問題となっており、改修工事が市町村財政では非常に厳しいので、国策として対応して進めるようにしてもらいたい。



様々なご意見をいただきました。事務局からの答弁を含めて、全体で今後の取り組みについて認識を共有しました。

以上。

○政策・制度要求で「認知症対策基本法」となっているが、「認知症基本法」と認識している。また、認知症の実態などについて国民の理解を進めていくことが重要であり、各構成組織においても実際の対応を取ることが大切であると思う。

2025全国組織代表者会議で学習会を開催

テーマ「戦後 80 年 今、伝えねば」 講師 石井 忠明さん

＜石井忠明さんプロフィール＞

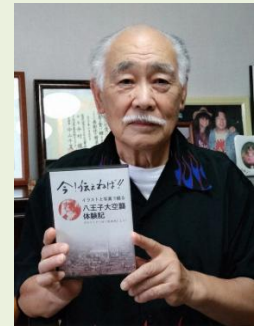
東京都八王子市小門町生れ。

八王子市第七小学校、第四中学校、都立立川高校(府立二中)卒、

國學院大学文学部史学科卒、東京大学史料編纂所通学。

日本テレビ(NTV)報道局報道部入社。

定年後:とんとん健康散歩の会会長、みんなで笑おう会会長、実録八王子の昔話、語り部作成中。



＜八王子大空襲の災害状況＞

犠牲者～450～500 人以上、負傷者～2,000～2,500 人以上

罹災者～7,700 人以上、消失家屋～14,389 戸(旧市街地 80%消失)

昭和 20 年旧市街地の人口 63,192 人

＜B29 爆撃機と焼夷弾＞

B29 爆撃機 170 機が昭和 20 年 8 月 2 日八王子市内に飛来し、大型爆弾 M17(集束焼夷弾 110 発入り)を 672,000 発投下。当時の八王子人口一人に対し 10 発の焼夷弾が投下された。

* 上記の「八王子空襲」を経験し、その恐怖と生きるための現実などをお話ししていただきました。

＜メインスローガン＞

紛争の早期終結を 平和で安心できる暮らしを若者へつなごう

＜サブスローガン＞

- 組織強化・拡大の取り組みで、政策・制度要求を実現しよう!
- 医療・年金・介護など全世代の持続可能な社会保障を構築しよう!
- 憲法が保障する平和的生存権を不断の努力で未来につなごう!
- 誰もが個人として尊重されるジェンダー平等社会をめざそう!